

一般環境中（大気）の内分泌かく乱化学物質（環境ホルモン）調査結果

環境局環境保全部環境規制課

電話 245-5193 内線 2741

1 調査目的

大気環境中の内分泌かく乱化学物質（環境ホルモン）の状況を把握し、今後の施策のための基礎資料とする。

2 調査日

平成 18 年 12 月 5 日～12 月 6 日

3 調査方法

「内分泌攪乱化学物質測定方法マニュアル（大気）」により調査を実施した。

4 調査結果

単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$

	真砂公園	水道局	福正寺	市役所	宮野木自排	定量下限値
アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	0.10	<0.03	0.05	0.09	0.09	0.03
フタル酸ジ-n-ブチル	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.02
フタル酸ジエチル	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001
フタル酸ジプロピル	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001
フタル酸ジ-n-ペンチル	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001
フタル酸ジヘキシル	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001
フタル酸ブチルベンジル	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001
フタル酸ジシクロヘキシル	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001
フタル酸ジ-iso-ノニル	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	0.03

5 調査結果の評価

すべての項目について、環境省がこれまで実施した全国調査結果の範囲内であった。

一般環境中（大気）の内分泌かく乱化学物質（環境ホルモン）調査地点



